

## 平成20年度後学期 TA 活動報告書

TA	2回生	学校臨床心理専攻	臨床心理学コース
TA 採用教員名	相模健人		
TA 採用授業科目名	教育相談論		
採用延べ時間数	授業科目 A : 28 時間、 授業科目 B : 時間		

### 【TA 活用内容】

教育相談論においては「現代の学校におけるいじめ、不登校などの問題の対応を教育相談の観点から学ぶ。特に子どもの問題に対して、いかに学校・家庭・地域といった学校システムが連携して対応できるか、その具体的手法について学ぶ」ことを目的としており、学生の、不登校やいじめに対する固定観念について考え直し、それらの問題に対する考え方、態度を身につけることが必要である。TAによるSolution-Focused Approachが活用されたWOWWプログラムを行うことにより、学生の授業意欲が増すことが予想され、TAの活用が求められる。

### 【TA 活用による教育的効果】

学生から「最初は何の為にやっているのか分からなかったけど、よかったことをお話しされて次もそう言ってもらえるよう頑張ろうと思えました」、「できなかったことをいわれるよりは、認めてもらうことで次につながると思った。受講生が一つにまとまった(?) ような感じがしました」、「態度が見られていると思うと、きもちがひきしまりました」といった学生の感想があり、学生の授業意欲向上に大いに役立ったと考えられる。また TA へのアドバイスを継続的に行ったことで「最後の方では目標を伝えていただくことができたので、気をつけて授業を受けようと思えました」との意見があり、学生が目標を持って受講することができた。TA 自身もカウンセリング内でのコメントやメッセージ作成に大いに役立った。

### 【TA 活用上の今後の改善点・課題等】

「評価される部分が幼稚な気がした」、「改善することにはつながらなかったと思います」といった意見もあり、今後より効果的な活用が求められる。